

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回 所沢市公共事業評価委員会
開 催 日 時	令和5年11月30日(木) 午後4時30分から午後6時00分まで
開 催 場 所	市役所本庁舎 高層棟7階 研修室
出 席 者 の 氏 名	杉崎 和久、櫻田 和子
欠 席 者 の 氏 名	宗政 由桐、寺内 義典
説明者の職・氏名	経営企画課主査 岩田 堯之 下水道整備課主任 湯本 裕樹
議 題	(1) 今回の公共事業評価委員会の進め方について (2) 評価対象事業の概要説明(防災の街づくりを目指す所沢市の下水道<第2期>(防災・安全)) (3) その他
会 議 資 料	資料1 : 社会資本総合整備計画(H30~R4)事後評価書(案) 資料2 : 社会資本総合整備計画(H30~R4)事後評価図面(案) 資料3 : 社会資本総合整備計画(H30~R4)事後評価書説明資料 資料4 : 社会資本総合整備計画事後評価書概要説明書
担 当 部 課 名	下水道整備課長 村上 和雄 下水道整備課主査 井上 直樹 下水道整備課主査 田村 真一 下水道整備課主任 湯本 裕樹 下水道整備課主任 杉山 捷 下水道維持課長 坂野 浩明 下水道維持課主査 新井 伸二 下水道維持課主査 小畑 裕司 経営企画課長 小池 純一 経営企画課主幹 松本 圭四郎 経営企画課主査 都築 岳男 経営企画課主査 岩田 堯之 経営企画課主任 星野 啓 経営企画部 経営企画課 電話 : 04-2998-9027

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>会議録の作成は要約方式、確定は事務局案を各委員に配布して承認を得るものとされた。</p> <p>以降、杉崎委員長により議事を進行。</p> <p>（1）今回の公共事業評価委員会の進め方について</p> <p>本年度については、社会資本総合整備計画の「防災の街づくりを目指す所沢市の下水道<第2期>（防災・安全）」が審議の対象である。</p> <p>評価の対象は、社会資本総合整備計画に基づき実施した当該事業に対する事後評価の妥当性である。加えて、今後の事業展開に向けた意見や助言もいただきたいと考えている。</p> <p>本日の第1回目では、担当課より事業概要説明および事後評価内容説明を行い、質疑応答や確認をしていただく。</p> <p>次回、改めての確認や議論を経て評価をいただくという全2回開催を予定している。</p> <p>（2）評価対象事業の概要説明（事後評価含む）</p> <p>配布資料に基づき評価対象事業の概要及び社会資本総合整備計画事後評価内容について所管課より説明した。</p>
委員	<p>資料の何か所かで国の交付金の対象にならないものと考えたという旨の説明があった。交付金を受けずに市の単費で事業を実施したということだと思うが、事業が交付金の対象となるか否かについて国との交渉はどの程度なされたうえで、単費で実施する判断としたのか。その経緯等について詳しく伺いたい。</p>

<p>所管課</p>	<p>交付金の採択条件が色々と設定されており、条件が一致しなかったため、市の単費で事業を実施した。</p> <p>具体的には、例えば【資料3】36ページに記載のある管渠と管渠の継手部分だけ強化するような方法、これが地震対策としては費用対効果に優れている。しかし、今後その管渠の長寿命化が必要になった場合には、その補強を外して長寿命化工事をしなければいけないという懸念点もあったことから採用しなかった。代わりに別の工法を採用したが、要件にはあたらないために市の単費で事業を実施した。</p>
<p>委員</p>	<p>緊急性を優先して、単費で実施するという積極的な判断をしたということか。</p>
<p>所管課</p>	<p>その通りである。</p>
<p>委員</p>	<p>交付金を活用しなかったことについての資料での説明内容については、積極的な表現にした方が良いのではないか。</p> <p>また、市の単費が増えた分、効率化を図ったり、工期の短縮を図ったり、工法を変えたりといった事業費を低減するため取り組みなどを行っているのであれば確認したい。</p>
<p>所管課</p>	<p>施工に際しては、工法の選定などの費用を抑えるような取り組みをしている。</p>
<p>事務局</p>	<p>欠席した委員から、当初予定と異なる工法を用いたために単費での実施となった箇所があることについては、施工時に最適な方法を取るなど柔軟に対応した結果と理解しているが、事前にそのようなことは分からないかという旨の質問を受けている。</p>

委員長	<p>質問の趣旨としては、2点だと思う。工法の変更などについて事前に把握し計画に反映させることができなかつたのかという点と、計画に反映できるものであつたのであれば、そこに国の交付金などを活用できたのではないかという点だと思うが、いかがか。</p>
所管課	<p>実際に現地を調査してみないと判断できないこともあり、事前に計画に反映させるのは困難だつた。結果として、交付金の活用は難しい事業となつたことから、市の単費で該当箇所の整備を実施したものである。</p>
委員	<p>事後評価書について、対象事業の一つである長期計画の策定に関しては事業の成果に係る記載がないので、定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況等に、長期計画を策定した旨の記載をしてはいかがか。また、特記事項のストックマネジメント計画に基づく改築について、未達となつてしまつているといったマイナス表現が見られるが、より肯定的な表現に改めるような訂正や説明の追加があつても良いのではないか。</p>
所管課	<p>そのように整理したい。</p>
委員長	<p>今回の資料はとても丁寧に作つてあり、また、交付金などの枠に縛られずに創造的に取り組まれている印象があつたので前向きに議論ができた。指標自体にも議論の余地はないと思うが、記載内容にはもう少し積極性を持たせても良いと思うので、整理されたものを次回確認したい。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>次回の委員会については、1月下旬から2月上旬に予定している。日程が確定し次第ご案内したい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

